



第二ぎんなん便り

社会福祉法人
熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
令和2年5月28日発行
第408号

5月

新型コロナウイルス感染も少し落ち着きははじめ、自粛解除で元通りの生活に戻りつつあります。が、油断大敵です。今だからこそ気を引き締めて、第2波の流行へ備えておく必要があるようです。特に私はかかりつけのお医者さん公認の不健康体なままで、人以上に注意しようかと思ひます。「自粛」というのはある意味では行動が抑制されてしまい、いつもの行動ができないというのはつらいものです。自閉症や発達障害のかたは、生活のリズムが崩れるととても不安になります。また、することがない時やすることが分からない時も不安です。暇、自由が苦手な方々だと思います。そういう意味でも「自粛」はつらいことだったと思います。幸いに作業所は通常通りの営業で、皆さん通常の生活ができたので、さほどストレスは溜まらなかったのではないかと思います。これからも通常の生活ができるように第2波の流行へ備えたいと思います。

【畑のお客さん】



作業所の畑は県運動公園のそばにあります。周りは畑や田んぼに囲まれ緑いっぱいです。最近、畑で耕地したり除草をしていると白と黒のまだらがある小鳥が飛んできて、畑に落ちている種などをついばんでいます。先日刈払機で草を刈っているとピョピョピョと後を付いてきては、種を食べていました。癒やされます。つい刈払機のエンジンを止めてしまいました。

【信書便車両清掃】

毎日毎日運行する文書集配のワゴン車が3台ありますが、最近、集配を担当をする利用者さんが自発的に車両の清掃をされています。出発前の10分ほどですが、窓の清掃、車内の掃き掃除をされています。朝一



で気持ちよく出発です・・・と自分の職員室の机の上を見ると書類が散乱・・・私の朝一の仕事も片付けかなと反省したところです。

【ニンニク収穫・干し】

毎年、ニンニクの収穫が終わると、作業所で乾燥をさせます。一昨年から単管とクランプを使った乾燥用のやぐらをつくり、ニンニクを下げ乾燥をさせています。ニンニクの皮をむいて一つ一つひもにくくりつけ下げていきます。作業所前を通られる方が珍しそうに、不思議そうに眺めていかれます。もちろんニンニクのおいもたっぷりとしています。

ニンニク収穫



根切り作業



ニンニク干し

